

2012 年度 事業報告書

一般財団法人明石コミュニティ創造協会

住民相互の連帯に支えられた、住みがいのある地域コミュニティを創造する活動を促進し、人々の生活、福祉、文化の向上に寄与することを目的として、地域コミュニティの健全な発展を図る各事業を実施しました。

2012 年度（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）の実績は以下に記載のとおりです。

1. 地域団体への支援

(1) モデル事業実施地区

明石市市民協働推進室のモデル事業（明石市内 28 小学校区中 3 小学校区、2012(平成 24)年度～2014(平成 26)年度の 3 か年で実施）の実施にあたり、中間支援組織として明石市、地域の双方を支援し、住民との信頼関係の構築、事業の進め方のアドバイスやワークショップの進行等を行いました。また、地域の実状把握のため、単位自治会などの活動にも目を向け、随時各所でヒアリングを実施しました。

また、市民協働推進室へ毎月分のモデル事業検証調査の報告を行うとともに、概ね 2 週間に 1 回、市民協働推進室と財団の担当者全員による情報共有会議を行っています。

①松が丘小学校区

- ・ 内 容：モデル事業として、コンサルタントを入れたアンケート調査を実施予定であるため、進め方についてアドバイス及び調整を行いました。
モデル事業以外にも、実践委員会等の進め方についてアドバイスをを行い、地域がワークショップを実施することのサポートなどを行いました。
- ・ 訪問回数：計 33 回（内訳：会議への出席 17 回、地域への訪問 14 回、来所 2 回）

②魚住小学校区

- ・ 内 容：会長主導型のまちづくり協議会から住民主体型へのまちづくり協議会となるよう、役員会の進行についてアドバイス、ワークショップ開催などを行いました。
- ・ 訪問回数：計 37 回（内訳：会議への出席 12 回、地域への訪問 20 回、来所 5 回）

③江井島小学校区

- ・内 容：モデル事業として、地域側でアンケート調査を進めており、直接的なアドバイス等は実施していません。新しい風を受け容れやすい体制がまだ十分には整ってはいないため、まずは地域住民と個別にアプローチをしながら信頼構築に時間をかけている状況です。
- ・訪問回数：計 17 回（内訳：会議への出席 3 回、地域への訪問 13 回、来所 1 回）

(2) まちづくり協議会未結成地区

明石市内 28 小学校区のうち、唯一県民交流広場事業を受託せず、校区内がひとつにまとまっていない中崎小学校区において、暫定事務局的な役割を担うことを通じて、互いにゆるやかに連携できる関係づくりを行っており、将来的に「協働のまちづくり推進組織」結成を目ざす方向で支援活動を行いました。

①中崎小学校区

- ・内 容：住民同士が互いに知り合い、折り合いがつけられる関係構築のため、「中崎小学校区これからのまちづくりを考える意見交換会」を開催し、住民同士が対話する場づくりを行っています。
開催後は「中崎コレカラ NEWS」を発行し、活動内容の周知と意識啓発に努めています。（A4 版縦・片面 1 枚で作成）
- ・開催回数：意見交換会 4 回
第 1 回／2012(平成 24)年 7 月 7 日／相生会館／35 名出席
第 2 回／2012(平成 24)年 9 月 1 日／大蔵会館／35 名出席
第 3 回／2012(平成 24)年 11 月 10 日／中崎公会堂／23 名出席
第 4 回／2013(平成 25)年 2 月 13 日／勤労福祉会館／30 名出席
- ・訪問回数：計 55 回（内訳：会議への出席 8 回、地域への訪問 39 回、来所 8 回）

(3) その他の地区

市民協働推進室や地域側からの依頼により、会議等に参加し、まちづくりに関するアドバイスや、会議進行のサポートを行いました。

①錦が丘小学校区

- ・内 容：住民懇談会開催に関しての相談、住民懇談会進行のサポート
- ・回 数：住民懇談会 2 回、相談 2 回

②二見小学校区

- ・内 容：まちづくりのアドバイス及び会議への参加
- ・回 数：5回

③その他の地区

- ・王子小学校区の広報相談等への対応など、適宜各地区の支援を行いました。

(4) 明石市連合自治協議会関連

①明石市連合自治協議会理事会・懇親会・視察旅行等へ参加・出席（10回程度）

- ・内 容：明石市連合自治協議会理事との信頼関係づくりを目的に、明石市連合自治協議会が主催する行事に参加しました。

②モデル事業の進捗状況報告のための広報誌「いまこん通信」発行

- ・内 容：モデル事業の実施状況を他の地域に伝え、意識啓発をすることを目的に、明石市連合自治協議会理事会の開催に合わせて広報誌を発行。
- ・発刊回数：2回（12月号・2月号）
A3版横・片面1枚で作成

③現役会長参加型による「自治会・町内会ガイドブック」の作成

- ・内 容：平成21年度に発行された「自治会・町内会ハンドブックQ&A」を改訂することを目的に実施。作成にあたり、現役の自治会長等に委員として関わってもらい、参加型で行いました。委員の主体性を促すことを意識した会議進行等により、委員の積極的な関わりが生まれ、内容の濃い成果物が完成しました。
- ・会議回数：8名の現役自治会・町内会長との企画会議 6回
企画会議 第1回／2012(平成24)年9月26日／方向性等について
第2回／2012(平成24)年10月24日／項目案検討など
第3回／2012(平成24)年11月28日／原稿内容検討
第4回／2012(平成24)年12月26日／原稿内容検討
第5回／2013(平成25)年1月30日／原稿内容検討
第6回／2013(平成25)年2月12日／最終確認
市民協働推進室との編集会議 12回

その他随時打ち合わせを開催

(5) 講師派遣

① コミセン所長研修

- ・ 内 容：コミセン所長への協働のまちづくりに関する意識啓発とスキルアップを目的に、市民協働推進室主催の小学校コミセン所長研修会において、参加型の講座を実施しました。
- ・ 実施回数：4回（年度後半に月1回、平日午前に約2時間）
- ・ 講 師：財団事務局長

② 出前講座

- ・ 内 容：市民に対して、協働のまちづくりに関する意識啓発するために、地域の要望に合わせて、地域に出向き、講座を開催しました。
- ・ 実施回数：2回
- ・ 実施団体：魚住まちづくり協議会、朝霧地区社会福祉協議会
- ・ 講 師：財団事務局長

(6) まちづくり運動助成

- ・ 内 容：明石市内13中学校区のコミュニティ・センター運営委員会と明石市連合自治協議会に助成。

※設立主体である公益財団法人明石コミュニティ創造協会から、助成金事業をそのまま引き継いで実施。

- ・ 助成団体：朝霧コミュニティ・センター運営委員会、
大蔵コミュニティ・センター運営委員会、
錦城コミュニティ・センター運営委員会、
衣川コミュニティ・センター運営委員会、
野々池コミュニティ・センター運営委員会、
望海コミュニティ・センター運営委員会、
大久保コミュニティ・センター運営委員会、
大久保北コミュニティ・センター運営委員会、
高丘コミュニティ・センター運営委員会、
江井島コミュニティ・センター運営委員会、
魚住コミュニティ・センター運営委員会、

魚住東コミュニティ・センター運営委員会、
二見コミュニティ・センター運営委員会、
明石市連合自治協議会 (計 14 団体)

・助成総額：930,000 円

2. テーマ型市民活動への支援

(1) 相談業務

- ・内 容：NPO 法人格取得に関する相談、組織運営マネジメントに関する相談、事業の企画・運営に関する相談、助成金申請相談など。
(簡単なコーディネート支援等は含んでいません。)
- ・相談回数：32 回
- ・対象団体：明石プラモデル甲子園 (3 回)、ローンボウルズ中崎 (1 回)、健康ソムリエ会 (3 回)、市民サポートセンター明石 (2 回)、ゆずりは明石 (1 回)、魚住 17 号池水利組合 (2 回)、花時計 (3 回)、ひまわりの家大久保 (2 回)、みっくす (2 回)、明舞ひまわり (2 回)、エコウィング明石 (8 回)、ファミリーハイツ西明石 (1 回)、風通信舎 (1 回)、このゆびとまれ (1 回) ※順不同

(2) 明石市内テーマ型市民活動団体へのネットワークづくり

- ・内 容：中間支援組織としてコーディネート業務は必要不可欠であるため、市内で活動する市民活動団体の活動を訪問し、実態を把握するとともに、信頼関係づくりを行いました。
- ・団 体 数：55 団体

(3) 明石ケーブルテレビへのコーディネート

- ・内 容：市民活動団体の活動 PR のため、明石ケーブルテレビと各団体をつなぎ、ケーブルテレビの番組 (番組名：今も青春 ing) において、団体の活動が紹介されることとなりました。
- ・回 数：3 回
- ・団 体 名：明舞ひまわり、あかねお笑い軍団、さくらんぼ

(4) セミナー・講座の開催

- ・内 容：市民活動団体のスキルアップを目的に、財団事務局長が講師をし、主催講座を開催しました。
- ・開催回数：2回
- ・講座名：チームビルディング講座
 - 2013(平成25)年2月21日／明石市立保健センター／28名参加
会議の進め方講座
 - 2013(平成25)年2月24日／アスパア明石・会議室／23名参加

(5) つながりサロンの開催

- ・内 容：市民同士のつながりを生み、主体性をうながすためのサロンを開催しています。
 - ※いずれは各小学校区で協働のまちづくり推進組織がサロンを開催することができるようにする方向です。
- ・開催回数：9回
 - 毎月第3木曜日 18:30～20:30 に財団事務所にて開催

(6) あかし市民活動団体協議会との調整

2013(平成25)年度以降の市民活動コーナーの運営に関して、あかし市民活動団体協議会と調整を行いました。

(7) 市民提案型パイロット協働事業受託団体交流会の進行支援

- ・内 容：市民提案型パイロット協働事業を受託している団体と行政との交流会において、財団事務局長がファシリテーターを務めました。
- ・回 数：1回

3. 内部研修および行政職員等との研修

(1) 明石市役所市民協働推進室との勉強会

- ・内 容：市民協働推進室との連携強化及びスキルアップのための勉強会を開催。
- ・回 数：19回（平日日中に各回2時間程度、随時開催）
 - うち明石市市民協働推進室の主催 10回
 - 明石コミュニティ創造協会の主催 9回

(2) ワークショップ研修

- ・内 容：明石コミュニティ創造協会のスタッフが持つべきスキルとして必要不可欠なファシリテーション力を高めるために、シミズシーズのスタッフと合同の研修を実施しました。
- ・回 数：17回
東播磨県民局内「かこむ」にて実施

(3) 制度等勉強会

- ・内 容：テーマ型市民活動団体の相談業務に対応するために、NPO 法人制度等の勉強会をシミズシーズのスタッフと合同で実施しました。
- ・回 数：10回
東播磨県民局内「かこむ」にて実施

(4) ロールプレイング

- ・内 容：地域と関わっていくためには、高いコミュニケーション力が必要であるため、コミュニケーション力を高めるためのロールプレイングを実施。
- ・回 数：上半期は3日に1回程度
主に財団事務所内で実施

(5) その他外部での研修等

- ・内 容：他地域の取り組み事例やノウハウを学ぶために、外部への視察研修等を行いました。

(主な研修等)

2012(平成24)年4月 岡山県・西粟倉村のまちづくり

2013(平成25)年1月 第6回全国小地域福活動社サミット in KOBE

4. 法人管理

- (1) 組織体制 2013(平成25)年3月31日現在
 - 評議員 桑原 功 (非常勤)
 - 小島 彰夫 (非常勤)
 - 山本 洋子 (非常勤)
 - 理事長 高橋 嗣郎 (非常勤)

常務理事 澤井 康樹 (常勤)
理事 永野 潔 (非常勤)
監事 林 郁朗 (非常勤)

事務局 事務局長 1名 スタッフ 4名

(2) 会議

[評議員会]

第1回	2012年5月31日	2012年度決算の承認 ほか
第2回	2012年7月20日	理事の選任 (高橋 嗣郎/2012年7月20日就任1名) *2012年7月31日辞任/理事・泉 房穂
第3回	2013年3月27日	監事の選任 (三又 一孝/2013年4月1日就任1名) *2013年3月31日辞任/監事・林 郁朗 2013年度事業計画、予算の報告

[理事会]

第1回	2012年5月10日	2012年度決算の承認 評議員会の開催承認 ほか
第2回	2012年7月13日	評議員会の開催承認
第3回	2012年7月30日	理事長の互選 (高橋 嗣郎/2012年8月1日就任) *2012年7月31日辞任 /理事長・泉 房穂
第4回	2013年3月19日	2013年度事業計画・予算の承認 評議員会の開催承認

[事務局]

明石市市民協働推進室との定例連絡会 毎週金曜日 9:30～
財団スタッフミーティング 概ね毎週金曜 10:00～